

くすりと健康のはなし

## 薬包紙

第87回

専務理事  
有川 幸孝  
一般社団法人岐阜県薬剤師会

薬局での薬剤師の仕事といえば、処方せんとおりに薬を調剤してお渡しする姿をイメージされると思いますが、調剤室で薬剤師が行っているのは薬の調合だけではありません。

薬剤師は、処方せんを受け付けるとお薬手帳を確認するとともに、残薬の有無や後発医薬品について説明し、理解してもらいます。副作用がでないかどうか聞きながら、薬剤師の目から見て処方せんの内容に漏れや不明な点などがあれば、医師に情報提供して確かめます。高齢者ではいくつもの診療科(所)を受診することも多く、同じ成分の薬が重複していないか、飲み合わせについてもチェックします。

また、患者さんの身体の状況などから、うまく服用できなかつたりする場合にもきちんと服薬できるよう、患者さんと相談して剤形を考えたリ、薬を一包装する、服薬カレンダーにセットすることも薬剤師の大切な業務です。このような確認をしてから実際にお薬を調剤し、間違いないか監査してから、患者さんに服薬指導をしてお渡しします。

## いまどきの薬局薬剤師のおシゴト

このように薬剤師は、正確に調剤することはもちろんですが、患者さんが安全で安心して薬物治療を続けられるように、お薬をお渡しした後も服薬の状況をお聞きしたりするようにしています。また、在宅で療養される患者さんにも同様にお手伝いしています。

ご紹介したように薬局薬剤師の業務は広がってきており、あなたの「かかりつけ薬剤師」として薬物療法のことなら何でも相談、信頼される薬剤師になれるよう努めているのです。

さて、薬剤師はこのほか病院、製薬企業、行政など広い分野で活躍しています。薬剤師のこともっと知りたい、薬剤師になりたい、という高校生のためのイベント『薬剤師体験フェスティバル2019 in GIFFU』を開催しますので是非ご来場ください。

【日時】令和元年8月18日(日)午後1時～4時

【場所】岐阜大学サテライトキャンパス(岐阜スカイウイング37東棟4階)